



平成 26 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 片 倉 チ ッ カ リ ン 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 西 見 徹
(コード番号 4031 東証第一部)
問 合 せ 先 執 行 役 員 財 経 本 部 長 清 水 達 也
(TEL. 03-5216-6611)

新中期事業計画「 挑戦 2016 」について

当社グループは、このたび 2014 年度から 2016 年度の 3 ヶ年を計画期間とする新中期事業計画 (名称：挑戦 2016) を策定いたしましたので、その概要をお知らせいたします。

記

1. 中期事業計画の基本的な考え方

当社グループの主力事業分野である肥料業界は、農業の構造的問題や生産コスト低減の動きなどを背景に肥料需要の低迷が続いております。肥料需要の減少に伴う企業間競争の激化や原燃料市況の変動リスク、円安の進行に伴う輸入原料価格上昇の懸念に加え、東北地区では、東日本大震災や原子力発電所事故被害の影響が継続することが想定されるなど、事業環境は引き続き厳しいものとなることが予想されます。

政府は、世界の食糧事情や環太平洋経済連携協定 (TPP) 交渉等をふまえて、我が国の農業を持続可能で強固なものとするべく様々な農業政策について検討を進めている中、平成 30 年に減反政策廃止を正式決定し、更に日本農業の再生を目指した農業関係法規の見直しを進めていく模様であります。

当社グループ最大の強みは、消費者が求める「安全・安心・良食味」の農産物生産に適した有機関連製品の製造・販売・普及であり、各地域の生産者ニーズにきめこまかく対応した生産・販売体制の構築を一層進めることによって、現在の厳しい農業環境においても日本の農業に貢献していけるととらえています。

前中期事業計画「復活 2013」について総括すると、依然として続く国内肥料需要の減少に加えて東日本大震災や原子力発電所事故からの農地復旧の遅れが残る環境下、販売数量・売上高は計画未達となりました。一方、収益面においては営業力強化と高付加価値製品の販売活動を行うと共に徹底したコスト削減に取り組んだことにより、計画初年度および中間年度においても利益目標を達成し、最終年度は肥料事業において消費税増税前倒し需要が大幅に増加したことに加え、化粧品事業における

化粧品原料の販売が国内・海外ともに増加したこと、および海外事業において中国向けに肥料製造技術の輸出を行ったことが大幅な増益に繋がり、利益目標は達成できました。

上記を踏まえ、この度当社グループは日本農業の厳しい環境等の難局を打開し、「低迷から復活」への方向転換を果たし「成長」へ向けた新中期事業計画を策定しました。コアである肥料事業をより強固なものにするために、土づくりのアドバイスや指導のできる土壤医の養成および本年4月より新設した「つくば分析センター」を活用して土壌分析や栽培指導等、生産者ニーズに応えたサービスの提供を行い、「安全・安心・良食味」に資する有機関連製品を中心に、全国に配置した製造・営業拠点を活かす地域に密着した提案型の営業活動をより積極的に推進します。また、栽培技術の多様化に対しても当社の持つ知恵と技術をフルに活用し、明日の農業に貢献してまいります。

その他の事業においては、化粧品事業にて天然素材由来の化粧品原料の海外戦略を含めた拡販、新たな原料および用途の開発等による収益基盤の強化、および化粧品凍結乾燥品製造受託の更なる拡販と事業拡大を目指し、効率的な生産・販売体制を強化します。

また、前期より立ち上げた海外事業推進チームによる肥料製造技術や堆肥化技術等の輸出促進を図ることにより更なる収益力向上を目指します。人財の育成を行い成長への変革を遂げ、知恵と技術でお客様のベストパートナーとなり、明日の農業へ徹底的に貢献し、将来にわたり成長を続ける、「魅力あふれる会社へ」変貌を遂げるための3ヵ年とします。

2. 計画概要

(1) 計画名称 「 挑戦 2016 」
スローガン 『 ネクストステージ ～魅力あふれる会社へ向けて～ 』

(2) 計画期間 2014年度～2016年度の3ヵ年

(3) 計数目標 [最終年度]

連結売上高目標	230億円
連結経常利益目標	9.3億円
連結純利益目標	5.5億円

(参考)

総資産	218億円
純資産	121億円
総資産経常利益率 (ROA)	4.2%
自己資本当期純利益率 (ROE)	4.4%
配当性向目標	50%

(4) 投資計画 全国の製造拠点において、競争力のある製品製造のための設備投資と周辺環境に配慮した設備投資を実施
[3ヵ年累計] (リース含む) 20億円

3. 行動方針

- (1) 人財の育成と成長への変革
- (2) 知恵と技術でお客様のベストパートナーに
- (3) 明日の農業へ徹底的に貢献

4. 施策

(1) 肥料事業

①栽培技術多様化への支援

- 畝立て同時局所施肥技術の普及
- 直播栽培に適した肥料の普及
- 水耕栽培技術の開発・普及

②つくば分析センターの新設

- 化学性分析・微生物性分析の事業化
- 顧客ニーズ対応に蓄積データの活用

(2) 海外事業

環境負荷軽減のための技術支援

- 肥料製造技術の提供
- 微生物による未利用資源肥料化・堆肥化促進の支援

(3) 化粧品事業

高付加価値化粧品のための機能性原料の提案

- 差別化のための機能性提案と開発
- 化粧品凍結乾燥品製造受託の拡大
- 国内外市場開拓の深化

以上